

あおり



CONTENTS | 目次

特集 ▶ P2-5

地元あおもりで、一緒に働こう！

旬を食べよう。あおもり野菜で簡単ヘルシークッキング/
青森さらりイッピン 私が出会った青森のイッピン ▶ P6

健康長寿は、乳幼児期の生活習慣から/
運転に不安を覚えたなら考えてみませんか？/
良医を育む地域・青森へー青森県の挑戦ー ▶ P7

申吾のほっとコラム/あおもりインフォメーション ▶ P8



生きたまま水揚げ！ 風間浦鮫鱈

下北半島の風間浦村沖で獲れる「風間浦鮫鱈」は、生きたまま水揚げされるのが特徴で、全国的にも大変希少です。港から2〜3キロメートルという漁場の近さに加え、針で釣り上げる伝統漁法「空縄釣り」や、「固定式刺し網」によって、鮮度抜群の状態の水揚げされるのです。

平成22年に「ゆかい村鮫鱈ブランド化戦略会議」(駒嶺剛一会長)が設立され、毎年2月には、下風呂漁港内特設会場で「風間浦鮫鱈感謝祭」を開催。平成26年に、鮫鱈では初めて地域団体商標に登録されます。漁業と観光を結びつけ、地域が一丸となった数々の取組が高く評価され、平成28年には、農林水産省などが実施する農林水産祭の「むらづくり部門」で「日本農林漁業振興会会長賞」を受賞しました。

毎年12月上旬〜3月31日には、「風間浦鮫鱈まつり」が開催され、下風呂温泉郷のホテル、旅館などで鮫鱈料理のフルコースが味わえます(要予約)。旨みたっぷりの鮫鱈鍋、肝と身を味噌であえた郷土料理「ともあえ」、香ばしい唐揚げ。中でも、刺し身は、産地ならではの逸品！室町時代からの歴史を持つ効能豊かな下風呂温泉で温まった後は、鮫鱈料理に舌鼓！青森の冬の醍醐味です。(今年の「風間浦鮫鱈感謝祭」は、2月5日に開催されます！)

▼関連記事はd09で

青森県で働きたい！若者がそう思える企業って？

仕事も、家庭も、もちろん趣味も……。青森県で充実した生活を送るために大事なこと「働きやすい環境」について特集します。

弘前大学の皆さんに聞きました！こんな企業で働きたい！！

早期インターンシップで学生の意識に変化が!?

—皆さんのゼミでは、どんな取組をしているのですか？

松本龍之介 地元就職率が高い福井大学の取組を参考に、1、2年生からインターンシップを行うことでどんな効果が得られるか、検証を行っています。体験した学生からは、就職活動が本格化する3年生からではなく早いうちに企業を訪問できて良かったという感想が多く寄せられました。

山手 勇人 初めは県内の企業にあまり良いイメージを持っていなかったけど、働く人たちのアツい思いにふれて、青森県の企業に対する印象がガラリと変わった！という学生もいたよね。
日野夏美 漠然と公務員志望だった学生が、企業の方の話を



小林 美織 (こばやし みおり)さん



葛西 美咲 (かさい みさき)さん

オトコだって育休を取りたい！そのためには？

—仕事を選ぶ時に何を重視しますか？
葛西美咲 職場の風通しが良くて、人間



松本 龍之介 (まつもと りゅうのすけ)さん



山手 勇人 (やまて はやと)さん

聞いて民間企業も視野に入れたという声もあった。1年生のうちはまだ気持ちに余裕があるから、先入観や固定観念にとらわれず企業を知ることができると思う。就職後のミスマッチ防止にもつながるんじゃないかな？
松本 取組成果報告会後の懇談会で、受け入れ先の企業の方たちとお酒を飲みながら交流できたのがすごく有意義だった！あんなふうに、企業の方と学生が互いに本音で語り合える場がもっとほしいよね。

関係が良いこと。職場の環境って大事だと思うから。
小林美織 本当は仕事のやりがいを重視したいけど、やはり、福利厚生や待遇面がしっかりしている

職場に魅力を感じてしまうのも事実……

山手 働く時は全力で働き、遊ぶ時は思いきり遊ぶ、オン・オフのメリハリがある職場がいい。運動会など社内行事があって、社員同士がコミュニケーションをとりやすくなる工夫をしている職場だと働きやすそう！

日野 将来、結婚して子どもを産んでも働きたいので、子育て支援が充実していて女性が活躍できる会社がいい。最近は、職場に保育園を併設している企業もあるよね？
松本 そう。うちの実家の近くの病院内にも保育園があるよ。自分の子どもが生まれたら、ぼくも絶対に育休を取りたい！
山手 ぼくも同じ！



日野 夏美 (ひの なつみ)さん

—県内の企業に求めることは？
日野 最近、奨学金返済に苦しむ若者が増えているので、企業が奨学金の一部を負担してくれる制度があれば、県内の就職率がアップするんじゃないかな？
松本 学生側もみんな一生懸命、情報収集しているんだけど、なかなか企業の情報が得られないのが悩み。だから、県内の企業はもっと積極的に情報をオープンにしてほしい。いろんなツールを使えば、必要としている人に届きやす

企業側も積極的に情報発信してほしい！

そのためには、上司の理解と、職場全体で助け合える雰囲気がないと難しいよね。
小林 以前、知り合いが高熱が出ていても代わりにいないから休めなかったって話してたけど、社員の健康を大事にしない会社はだめだよ。働く以上は一生の仕事にしたいって思うから、どうしたら社員が長く働き続けられるのか企業側も工夫して、変えるべきところはどんな変えていってほしい。



弘前大学 人文学部 小谷田ゼミの皆さん

くなるから。

山手 たとえば、企業のホームページだけでなく、フェイスブックやツイッターでリアルタイムに情報発信するとか。それ以外に、ポスターやチラシなど、さまざまな媒体を使って発信してもらえれば情報収集しやすいよね。

葛西 私は、日野さんと一緒に、「SCENE」という県内の大学生による情報誌作りに関わっているんだけど、県内企業の取組を紹介する企画で地域に愛着を持ってがんばっている方々に会ったの。そんな方たちと交流を重

ねることで、県内で働くイメージが湧くのでは？

日野 そうだね。できれば企業の人事担当者のお話だけでなく、そこで働いている方たちの生の声も聞きたいな。企業の方も業務で忙しいと思うけど、県内就職率アップのために、できるだけインターンシップの受け入れ態勢を整えてほしい。私たちは、もっと県内企業のことを知りたい学びたい！ぜひ、よろしく願います！



【インタビュー】
株式会社小坂工務店
渉外部 部長
野村 笑美さん

建設業界で女性が活躍！ 子育て中は在宅勤務も

当社は、三沢市で建設業を柱に不動産、通信機器販売などを展開しています。建設業界は「男性の職場」というイメージがありますが、当社は4割以上が女性で女性の管理職や現場監督も活躍しています。能力がある社員に長く働いてもらいたいので、子育てなどで時間の



制約がある社員向けに時短勤務や在宅勤務制度を採用しているほか、職場復帰の際の不安軽減のために、情報共有システムによって、自宅からのようにしています。

建設業は大きな現場が始まると休みが不定期になりがちですが、現場がひと段落した後の「リフレッシュ

積極的な子育て支援で 子育て従業員も増加！



【インタビュー】
社会福祉法人温和会
特別養護老人ホーム朝光苑
たかはら ひろみ
施設長 高原 弘美さん

当法人は、青森市で特別養護老人ホームやデイサービスセンターを運営しています。質の高い介護サービスの提供のためには、仕事とプライベートのバランスが大切という考えから、妊娠中等、個々の事情に合わせて働けるよう変則勤務を採用し、育休明けも無理なく職場復

帰できるようなシフトを工夫しています。また、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）への理解を深めるため、職員向けの勉強会や家事の効率化に役立つ調理イベントを開催するなど、職場全体で補い合える関係作りにも力を入れています。

これまで男性職員の育児休暇の取得実績もあり、平成27年には「子育て支援に積極的な企業・団体」として、県内で初めて厚生労働省の「プラチナく



※「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣が認定する「みん」企業のうち、高い水準の取組を行っている企業の認証制度

「仕事」も「プライベート」も充実！ 職場ぐるみで「働き方改革」！

働きやすい職場環境作りに向けて、さまざまな取組を行っている企業や法人をご紹介します。



【インタビュー】
福祉の里
社会福祉法人 統括本部 人事部 部長
おがさわら なおこ
小笠原 尚子さん

理事長が率先して改革！ 職員の意識に変化が

当法人は、十和田市や野辺地町を拠点に、老人保健施設やケアハウスなどの運営と訪問看護、訪問介護などのサービスを提供しています。福祉・介護業界は離職率の高さが問題になっていますが、当法人も以前は年間30〜40パーセントの職員が離職していました。



そこで、男性も女性も仕事と子育てを両立しながら、その能力を十分に発揮し、キャリアアップしていただけるように、短時間勤務や時差出勤の実施、各種賃

格の取得支援のほか、育休中の職員にも業務状況を伝えるなど、職場復帰しやすくする工夫も行った結果、近年の離職率は10パーセント以下にまで改善し、これまでの男性の育児休暇取得者も4人に達しています。「育児・介護はお互い様。生産性を上げ、家族と過ごす時間を増やそう」という姿勢を理事長が率先して示し、徐々に職員にも浸透してきていると思います。

フレックスタイム制や システム整備で柔軟に



【インタビュー】
株式会社ジーアイテック
開発グループマネージャー
たかはし りゆうぞう
高橋 呂志さん

当社は、システムの開発やコンサルティングなどを手掛ける八戸市にあるIT企業です。フレックスタイム制の導入や社外でも仕事ができるシステム整備などにより、個々の従業員の事情に配慮した柔軟な勤務体制を実現しています。コア

タイム（午前10時30分〜午後3時30分）以外は自宅などで仕事をした時間も勤務時間に算入されるほか、社内の情報共有には社内版のチャットや勤務管理の各種システムが活用されています。

常に新しいものを取り入れる柔軟な発想で効率性を追求し、社外においても通常の業務が可能な環境を提供することで、子育てや介護、自己啓発など個々の事情に合わせてプライベートと仕事をうまく両立できる、従業員の暮らしにも配慮した勤務体制を目指しています。

「企業子宝率」調査 から見えるもの

企業子宝率とは、渥美由喜氏が提唱した「職場の子どもの産み育てやすさ」などに関する指標の1つで、「企業の合計特殊出生率」とも呼ばれます。従業員（男女問わず）が在職中に持つと見込まれる子どもの数を企業・事業所単位に算出します。

県でも今年度初めて調査を行いました。試行調査のため参考扱い（平均1.17、最高値1.86）ですが、「仕事と子育ての両立では何が重要と考えるか」という項目では、「職場の管理監督者・同僚の理解」が最も高い回答割合になりました。これは福利厚生制度の充実だけでなく、子育て従業員に対する職場の理解や、育児・出産期に互いに助け合う職場風土が重要であるという他県の先行調査結果と同じ傾向を示すものです。

■仕事と子育ての両立では何が重要？

(3つまでの複数回答)	回答企業数	回答割合※
職場の管理監督者・同僚の理解	48	65.8%
年次有給休暇を取りやすく	37	50.7%
時間外勤務を少なく	29	39.7%
育児休暇制度を利用しやすく	21	28.8%
出勤・退社時間を柔軟に	16	21.9%
経済的支援	12	16.4%
子どもの看護休暇を取りやすく	11	15.1%
短時間勤務を取りやすく	11	15.1%
社内保育施設	4	5.5%
就業継続しやすいように在宅勤務	2	2.7%

※全回答企業数73社に占める割合

我が家は共働きで、3歳と1歳6カ月の娘がいます。朝は私と子どもたちを保育園まで送って行き、夜はお風呂と一緒に入った後、寝かしつけたり、休みの日は一緒に食事を作るなど、夫婦で協力しながら家事や育児をしています。

当社では、平成28年4月から県内全店舗で半日年休制度がスタートしました。私も子どもが熱を出して保育園から電話が来た時に、半日休暇を取って病院に連れて行ったことがあります。他の男性社員も半日休暇を利用して参観日に出席するなど、好評です。この制度は、社員の意識向上にも役買っているようで、平成28年11月には、初めて男性社員が育児を取得しました。休みを取る時は店長に言いませんが、日頃から社内のコミュニケーションを取り、お互い助け合える雰囲気を作ることも大切に



子どもを連れたお客様には、自分の体験を通じて車選びのアドバイスができるので、子どもと過ごす時間は仕事にも役立っています。

子育てに便利な社内制度で 男性の育児参加もアップ!



株式会社青森タイハツモーターズ 青森石店
榎引 悠士 さん

県内の就活・就職を 応援します!

県では、県内大学生や本県出身の県外大学生等に対し、県内の就活・就職を応援するとともに、若年者の職場定着のためのサポートをしています。例えば、青森県企業情報誌の作成・配布、合同企業説明会の開催、学内就職セミナーなどへの職員派遣、県内就職した場合の生活をイメージできる生涯収支モデルなど、青森県の暮らしやすさに関する情報をお知らせし、県内就職を支援しています。

また、若年者の職場定着の促進に向け、高校生の就労意識形成支援を行うほか、県内企業や若手社員を対象にした企業人材育成研修、個別カウンセリング・意識調査などバックアップに努めています。

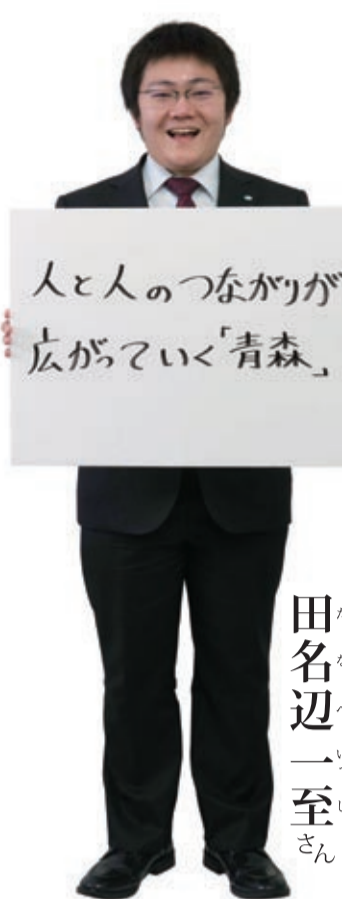
労働政策・能力開発課 ☎017-734-9398



その後、関東の大学に進学。卒業後は青森で就職しようと考えていましたが、そんな思いを後押ししてくれたのが「若者からの青森学発進事業」などの県の事業でした。首都圏で東青地域の県産品を販売したり、青森をテーマにした交流会に参加するうちに、知れば知るほど面白い、青森の奥深さにはまってしまったのです。地元に戻り、現在の会社に入社。青森駅で駅員として勤務した後、現在は総務部で広報業務を中心とした総務関係の仕事をしており、民俗や歴史にも興味があるので、沿線の暮らしそのものを「資源」ととらえ、意外に知られていない魅力をPRしたり、通学で青い森鉄道を利用してはいる高校生たちとコラボして何か面白いことができたらいいなと考えています。ヒトやモノだけでなく、文化も運ぶ鉄道。今後も仕事を通じて人や地域と関わりながら、新たな発想とアイデアで青森の魅力を発信していきたいと思っています。

高校時代から、地域活性化団体「クリエイト」(現・NPO法人あおもり若者プロジェクトクリエイト)のメンバーとして、ミニFM局での自主制作番組の放送、観光客向けフリーペーパーの制作など、青森の魅力を発信する活動を行ってきました。

ヒト、モノ、文化を運ぶ鉄道 沿線の魅力を発信したい!



青い森鉄道株式会社 総務部総務広報課
田名辺 一至 さん

ワーク・ライフ・バランスで 「働き方改革」に挑戦!

「ワーク・ライフ・バランス」は、「お休み」のための制度だと誤解されがちですが、実は「働く」ための制度です。ですから、「もっと休める」ではなく、「もっといい仕事ができる」がキーワードになります。

企業の経営者の皆さんは、ワーク・ライフ・バランスの取組をきっかけに、不要な残業などをなくして、利益の上がる効率的な働き方をめざす「働き方改革」にチャレンジしてみたいかがでしょうか。



【インタビュー】
弘前大学 教育推進機構
キャリアセンター副センター長
准教授 小磯 重隆 さん

柔軟性のある働き方を採り入れることで、仕事をしながら育児・介護との両立も可能になるため、優秀な人材を失うことがありません。ワーク・ライフ・バランスは、会社にとって非常にメリットのある制度なのです。また、ワーク・ライフ・バランスでは育児と介護がクローズアップされがちですが、地域との関わりも重要な要素です。特に仕事一辺倒で生きてきた男性は、定年後に地域で孤立してしまうというケースも少なくありません。充実した人生を送るためには、地域の交流も大事なことだと思います。

ワーク・ライフ・バランスは、会社はもちろんですが、働く一人ひとりが考えて実践していくことが大切です。仕事と生活の「調和」をめざして、ぜひ取り組んでほしいと思います。

職場に「イクボス」を 増やそう!

近年、育児や介護など、さまざまな事情で残業できない従業員が増えています。そこで県では、働きやすい青森の実現のため、職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果も出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)＝「イクボス」を増やすため、企業などへの働きかけを積極的に行っています。

青少年・男女共同参画課 ☎017-734-9228

こんな工夫で 「働きやすさ」が アップ!

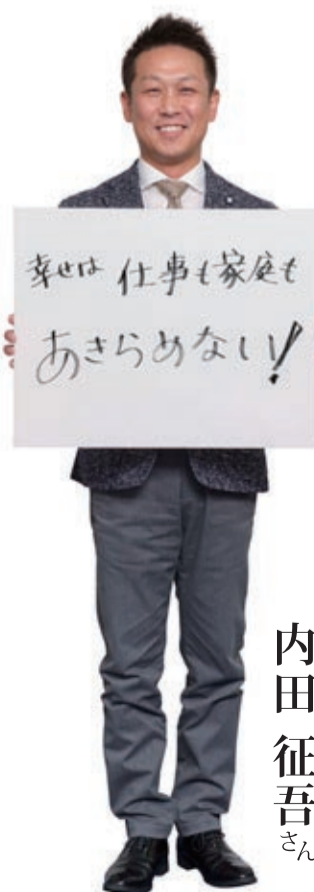
生活を支えるうえで欠かすことのできない「仕事」と、家庭・子育て・地域活動などの「暮らし」。両者のバランスを取りながら充実した人生を送っている方々をご紹介します。

女性が働き続けるための 「思いやり配慮ルール」

当社は女性社員が7割を占めており、彼女たちのスキルとキャリアを生かした活躍に大いに期待しています。そんな社員たちが育児や介護などをしながらも長く働き続けられるよう、社員の意見を取り入れながら作ったのが「みんなの思いやり配慮ルール」です。これは、出産、子育て、親の介護など、ライフステージに合わせてさまざまな働き方ができるように変則勤務を採り入れ、社員全員で補い合う仕組みです。たとえば、子どもの小学校入学時などに、下校時間に合わせて早期退社や一時帰宅ができた、家族の介護などで通院に付き添うための外出ができるなど、個々の事情に合わせて



学生の皆さんには、企業が自分たちに用意してくれる条件だけでなく、自分はその仕事を通して社会にどんな価値を提供し貢献できるかも考慮し、自分が一番輝ける企業を選んでほしいですね。ギブ&テイクで企業を選ぶとミスマッチが起ころいやすいですが、「同じ思いを持った人と一緒に働く」のは、生きがいにつながります。



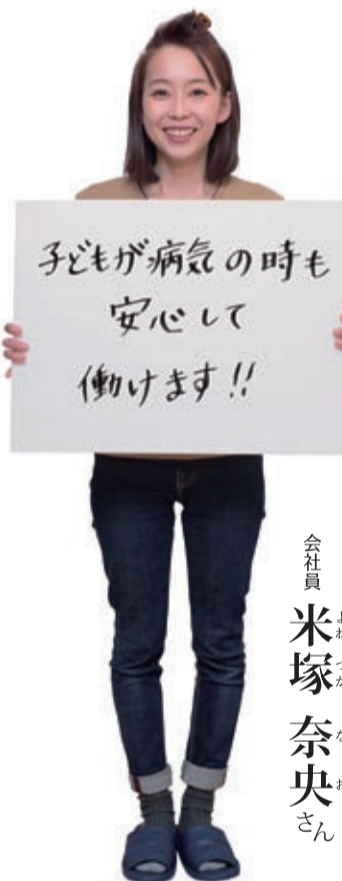
株式会社東京堂 代表取締役社長
内田 征吾 さん

私は、五所川原市内の会社に勤務し、産休・育休取得後、職場復帰しました。夫婦共働きのため、生後7カ月の次女は保育園に預けています。でも、病気の時は保育園に預けることができなないので、私が仕事を休まなくてはなりません。私の職場は子育てに理解を示してくれていますが、繁忙期に何日も休まなければならぬ時は、申し訳ない気持ちになります。



そんな時、市内初の「病後児保育拠点センター」みどりの風アリスがオープンしたと知り、施設内には看護師や保育士が常駐していて、病後回復期の乳幼児から小学生を預かっ

働くママ・パパをサポート! もしも「の時の」病児保育!



会社員
米塚 奈央 さん

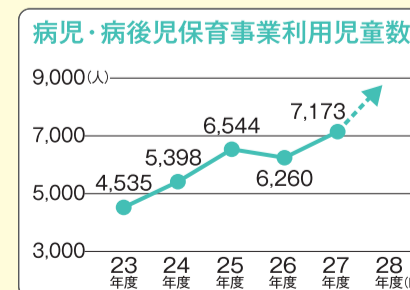
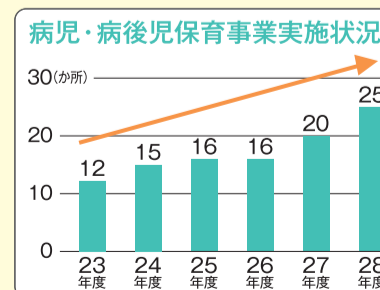
てくれるとのこと。娘は人見知り真つ最中なので初めは大丈夫かなと不安でしたが、実際に預けてみると、スタッフの方たちが

共働きのママ・パパをバックアップ!

県では、育児をしながら働くママ・パパの負担を少しでも軽減するため、仕事と子育てを両立しやすい環境づくりのひとつとして、満足度の高い保育サービスの充実に取り組んでおり、青森県の毎年度4月の待機児童はゼロという結果も出ています。

中でも、共働き世帯から特にニーズの高い「病児保育」(病気やその回復

期の子どもを一時的に預かるサービスの)拡大に力を入れています。例えば、病児保育に預けた我が子の様子を仕事場にいるママ・パパが遠隔で確認することができるライブカメラや専用スペースを事業所に設置するなど、お子様の安全を守り、ママ・パパが安心して働けるためのさまざまなサポートに取り組んでいます。



子どもみらい課 ☎017-734-9302

2月の「地元あおもりで、一緒に働こう!」 関連番組 放送予定

放送局	番組名	放送日時
青森テレビ	みんなの県庁!	2月4日(土) 16:55~17:00

旬を食べよう。 あおもり野菜で 簡単ヘルシークッキング

ふかうら雪人参編



に抑え、土にえん麦をすき込む緑肥栽培を行うなど、健康な土づくりにもこだわっています。

生で食べてもみずみずしくて甘いのが特徴で、生ジュースにすると、「にんじんってこんなに甘いのか」と、皆さん驚いてくれます。冬季限定で町内の産直施設などで購入できます。

野菜とは思えない
フルーツのような甘さ



農事組合法人 舩作興農組合 代表 坂本正人(さかもと・まさと)さん

ふかうら雪人参は、深浦町の農事組合法人舩作興農組合が栽培している雪の下から収穫するにんじんで、野菜とは思えないフルーツな甘さが特徴です。夏に種をまき、秋に収穫できるまでに成長したにんじんをそのまま雪の下で眠らせ、12月〜3月に1本ずつ手作業で収穫。寒さで凍らないように身を守る生理機能によって糖分が蓄えられるため、甘さ抜群！農薬、化学肥料を必要最低限



ふかうら雪人参 太巻き

【一人分のエネルギー：405kcal／塩分：2.6g】

〈材料：4人分〉

雪人参……………300g
砂糖……………小2
塩……………小1/3
卵……………3個
砂糖……………大1/2
塩……………小1/4
ツナ缶……………1缶(80g)
マヨネーズ……………小1
プロッコリー……………50g
のり……………3枚
米……………2カップ
酢……………50cc
砂糖……………大2
塩……………小1

〈作り方〉

- ①雪人参は、中心部を2cm幅の縦長の棒状に切り、ピーラーなどで角をとり、円柱型に形を調える。角を切り落とした雪人参はみじん切りに。
- ②鍋に①と、ひたるぐらいの水、Aを加えて、汁気がなくなるまで煮る。
- ③卵にBを加え、薄焼き卵をつくる。(2枚)
プロッコリーは塩ゆでに。ツナ缶は汁を切りマヨネーズで和える。
- ④米は少なめの水加減で炊く。炊きあがったら、Cと②のみじん切りの雪人参を入れ、すし飯を作る。
- ⑤巻きすの上に、③の薄焼き卵を広げ、その上にツナを広げ、②の棒状の雪人参を置き、手前から巻き上げる。(2本)
- ⑥巻きすの上に、のりを1枚半縦長にのせ、④の1/2量を向こう側2cm手前まで全体に敷き詰める。
- ⑦真ん中に⑤のをせ、手前からしっかり巻き上げる。(2本)
- ⑧⑦を8等分に切り、プロッコリーを小房に分け、切り口に刺して飾り付ける。

るみ子先生のワンポイントアドバイス

巻物は、ごはんを敷き詰め、固めにしっかり巻くのがポイント！
ふかうら雪人参は、とても柔らかな甘さなので、厚めに切ってシンプルに味付けした方が、より甘みが際立ちます。

レシピ開発・調理／管理栄養士 福土るみ子



私が出会った 青森のイッピン vol.5 風間浦鮫鯨

地元の人々の思いが、その価値を守る

今回の題材は「風間浦鮫鯨」。風間浦という地名の響きに美しさを感じながら、海から吹き上げる風に下北半島の冬の厳しさを体感した。

風間浦村に到着後、まずは、蛇浦地区にある折戸神社へ。毎年12月15日に、安全に漁ができることへの感謝の思いを込め、神楽を奉納するという。神楽を舞う若者の姿に、世代を超えて受け継ぐことの素晴らしさを知った。

その後、漁師の松本春和さん(表紙)のもとへ。彼は、サラリーマンから転職後、家業を



神楽奉納(蛇浦折戸神社)



鮫鯨鍋と刺し身(右)、ともあえ



鮫鯨の唐揚げ

本誌題字タイトル／「青森きらりイッピン」ロゴタイトル



書家
菊池 錦子 KINKO KIKUCHI

【プロフィール】
青森県弘前市出身
個展で書を発表しているほか、自身の書と写真で綴った「ゆりかごII」の出版、NHK大河ドラマ「篤姫」・「江～姫たちの戦国～」の題字をはじめ、映像・イベントなどのタイトルや社名、商品名など多方面にわたって数多くの筆文字のロゴも手掛けている。

表紙撮影／「青森きらりイッピン」取材撮影・文



カメラマン
能登 直 Sunao Noto

【プロフィール】
1999年3月神奈川大学外国語学部 卒業。
その後、仙台のスタジオでアシスタントを経て、2005年に独立し a presto として活動中。
モデルを中心とした人物や広告、スポーツの撮影を行っている。公益社団法人日本広告写真家協会正会員・国際スポーツプレス協会会員・一般社団法人日本スポーツプレス協会会員

「青森きらりイッピン」
動画コンテンツを配信しています。

青森が誇る「ヒト」、「モノ」、「コト」を紹介する動画コンテンツ「青森きらりイッピン」を、YouTube、Facebookで配信しています。スマートフォン、パソコンで「青森きらりイッピン」を検索してご覧ください。「青森きらりイッピン」の紹介ホームページはこちら http://www.pref.aomori.lg.jp/koho/tv/int_kirari.html

健康長寿は、乳幼児期の生活習慣から

子どもの健康管理は乳幼児期から

本県は、小学校入学時点ですでに肥満傾向児出現率が全国平均よりも高いという状況があり、小学校入学前からの家庭の健康管理がとても大切です。このため県教育委員会では、乳幼児期の家庭教育を応援する事業を実施しており、大学教授、保健所長、保育関係者などで作る専門の委員会を設け、乳幼児期の家庭教育の課題と方策について調査研究・検討を進めています。子どもの肥満については、「スポーツ飲料やジュースを水やお茶代わりに飲むことは糖分の取り過ぎになり、肥満の原因となる」といった意見も出ています。

「イクジイ、イクバア」の役割も大切

乳幼児期の子育てについては、祖父母の役割も大きいことから、県地域婦人団体連合会と連携し、「イクジイ、イクバアによるイマドキの子ども研修会」を開催しています。参加者からは「孫の将来の健康のためには、甘い飲み物の飲み過ぎはよくないことがわかった」といった感想が寄せられています。



乳幼児期の健康な生活習慣の定着に向けて

一方、現役の子育て世代に限らず、未来の親世代の意識啓発も重要です。11月に開催したフォーラムでは、ヤングパパママと未来のパパママ交流会が行われ、「未来のパパママ」の高校生から、「青森で子どもを産んで育てていきたい!」という頼もしい一言がありました。

今後、県教育委員会では、市町村と連携し、母子健康手帳を活用した情報発信など、乳幼児期の健康な生活習慣の定着に向けた取組を、市町村や関係する方々と連携しながら進めていきますので、皆さんのご協力をお願いします。



詳しくは、県庁HP [0歳 家庭教育](#) [Q検索](#)

生涯学習課 ☎017-734-9890

運転に不安を覚えたら考えてみませんか?

～運転免許証の返納は交通安全への第一歩～

県内の事故発生件数は全体として年々減少傾向にあります。高齢ドライバーによる事故件数は横ばいで推移しています。高齢ドライバーの中には、運転に不安を感じつつやむを得ず運転している方も多く見られます。

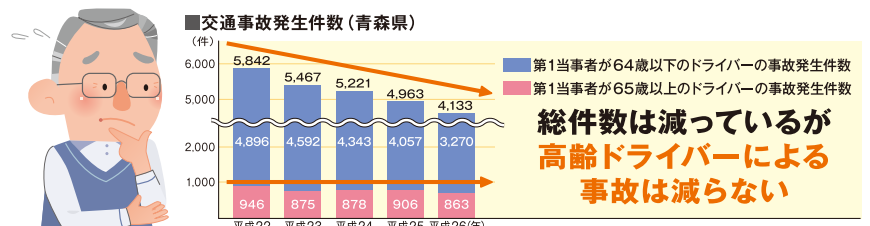
そこで、青森県警察では、自主的に運転免許を返納し、運転経歴証明書の交付を受けた方に対して、県内の支援協賛店の協力を得てタクシー運賃の割引や、商品宅配サービスなどの日常生活支援を行っています。

この機会に運転免許の自主返納を検討してみませんか?

詳しくは、運転免許センター(電話017-782-0081)または県内各運転免許試験場、県内各警察署にお問い合わせください。

詳しくは、[青森県警 自主返納](#) [Q検索](#)

警察本部交通企画課 ☎017-723-4211



やむを得ず運転している方も多いため、運転に不安を感じる方に免許を自主的に返納してもらう選択も必要なのは…

そこで

不安解消

料金割引 無料配達 などの支援
各支援協賛店からの支援

県職員からのお知らせコーナー | 医療薬務課 主事 白鳥 咲菜

良医を育む地域・青森へー青森県の挑戦ー

■県の取組

県では、医師を目指す中高生の段階から、医学生、研修医を経て、医師として成長した後も応援していく仕組みとして、「良医を育むグランドデザイン」を策定し、県内で能力を発揮する医師が少しでも増えるよう、多くの取組を行っています。

その一つとして、良い資質を伸ばすことを目的に、中高生を対象とした事業を展開しています。

■「ドクタートーク2016」を開催しました

今年度は3回、県内でご活躍のベテラン医師による講演会を開催しました。

会場は三本木高校、弘前高校、田名部高校の協力をいただき、近隣地域の中高生約300人が参加しました。講師に八戸市立市民病院の岡本道孝先生、板柳中央病院の長谷川範幸先生、むつ総合病院の坂井哲博先生をお迎えし、医師の生活や

青森県の取組
「良医」を育むグランドデザイン
(平成17年11月策定)

3つの戦略

- ① 優れた医育環境(医師が学ぶ環境)を整える
- ② 意欲が湧く環境(医師が働く環境)を整える
- ③ 仕組みを整える



心構え、リアルな仕事の様子など普段踏み入れることのない世界についてお話を聞くことができました。

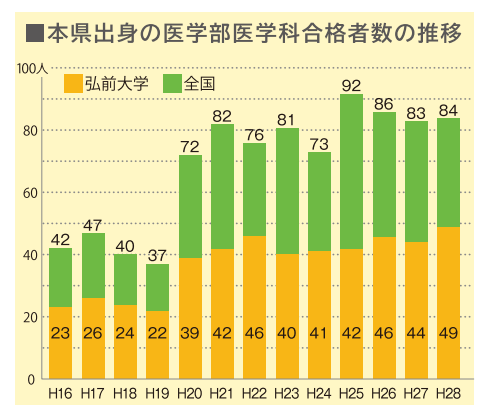
講演後、活発な意見交換が行われ、参加者の関心や医師を志す気持ちを高める機会となりました。

講師の先生方の熱意を受け取り、幅広く活躍されることを楽しみにしています。

■これまでの成果

このように「良医を育むグランドデザイン」をもとに実施した取組により、本県出身医学部医学科合格者数が増加しています。

今後も良き資質・能力の育成と発揮のため努力してまいります。共に働ける日を心待ちにしています。



詳しくは、[良医 青森](#) [Q検索](#)

医療薬務課 ☎017-734-9288

申吾の(ほっと)コラム

多様な創業・起業を応援します!

青森県知事 三村 申吾

今号の特集テーマ「青森県の『働きやすさ』」は本編に任せるとして、私が重要と思っている「多様性」について触れてみたい。

何しろ知事に就任した頃の有効求人倍率は0.29倍。即効性のある企業誘致に、商工労働部いや県庁を挙げてしゃにむに頑張ってきた。その結果の383件(11月末、既進出企業の増設含む)は少し誇りに思っている。

でも、それだけではいけないとの考えで、産業施策として農商工一体の6次産業育成と共に、「小商い」すなわち、地域に必要とされているが「足りない」「あったらいいな」という仕事起こしにも心配りをしてきた。若い方々の声に沿っての思いだった。

例えば、「上京してネイルアート、眉スタイリング、コーヒーロースターなどの技術が身に付いた。青森に帰って創業起業出来るかな?」と問われたら、「出来るよ」と答えられるようにと云う訳だ。

最近の事例を紹介する。「至福の一杯」を楽しめるスタンドカフェを立ち上げた御夫婦。看板メニューが「ふたりで作るマリッジリング」の工房併設型ジュエリーショップを始めた男性。プロの理容師、ネイリストと提携し、すべての女性を可愛らしくとの思いでエステサロンを開業した女性。

他にも、愛犬トリマー、猫カフェ、ダンススタジオ、釣りガイド、アクティビティツアー会社、クラウドサービス等々、本当に多様な仕事を20~30代の若者がスタートさせている。

もはや、「青森だと出来ない」じゃなくて、「応援の仕組みが色々あって、青森だからこそチャレンジ出来るんだよね」という時代になっていることを知ってほしい。

あなたも多様な創業・起業にチャレンジできる青森県で、夢を叶えてみませんか。

※ご相談は、21あもり産業総合支援センター(☎017-777-4066)、県庁地域産業課創業支援グループ(☎017-734-9374)

AOMORI information

あもりインフォメーション

青森県学生寮入寮生募集

出願資格	保護者が青森県民で、東京都又はその近郊の大学、専修学校等に在学しているか、平成29年4月に入学見込の男子学生
経費	入寮費年額3万円、寮費月額3万円、電気料金実費、食費1食450円(平日の夕食のみ)
募集人員	約40人
場所	東京都小平市鈴木町一丁目103の1
部屋	個室で、ベッド、机、エアコン等有り
申込方法	各高校及び各教育事務所等にある願書に必要な事項を記入の上、添付書類とともに平成29年3月27日までに青森県育英奨学会へ提出(大学等の合否決定前に出願できます。) ※願書は、ホームページからも入手できます。



詳しくは、県庁HP [青森県学生寮](#) [Q検索](#)

青森県育英奨学会(教職員課内) ☎017-734-9879

三内丸山縄文冬祭り開催!

青森市の三内丸山遺跡では、縄文冬祭りを2月11日(土・祝)、12日(日)の2日間開催します。「火起こし」などの縄文生活体験、「クイズラリー」、「雪中宝さがし」のほか、毎年大好評の「大型すべり台」など、大人から子供まで楽しめるたくさんのイベントを企画していますので、是非ご家族でお越しください。



詳しくは、[三内丸山遺跡](#) [Q検索](#) 三内丸山遺跡縄文時遊館 ☎017-781-6078

建設資材廃棄物の引渡完了報告制度が始まります!

県内における産業廃棄物の不法投棄等の約7割が、家屋の解体工事等で発生する「建設資材廃棄物」となっています。この抑止のため、一定規模以上の工事の元請業者等を対象に、建設資材廃棄物を産業廃棄物処分業者に引き渡したことを県(青森市内、八戸市内の工事の場合はそれぞれの市)に報告していただく「建設資材廃棄物の引渡完了報告制度」が、平成29年4月1日にスタートします。

この制度に関する説明会を2月中~下旬に県内6か所(青森、弘前、八戸、五所川原、十和田、むつ)で開催します。

詳しくは、県庁HP [建設系廃棄物](#) [Q検索](#) 環境保全課 ☎017-734-9248



サイバー犯罪防止キャンペーンを実施!

警察本部サイバー犯罪対策室では、平成29年2月4日(土)午前10時から午後4時ごろまでの間、サンロード青森1階サンホールにおいて、サイバー犯罪防止キャンペーン~守ろう!情報セキュリティと知的財産~を開催します。

当日は、情報セキュリティに関するブース展示や、インターネットを利用する上での注意点を広報するステージイベントのほか、地元アイドルによるミニライブや着ぐるみ写真撮影会、景品抽選会を実施する予定ですので、是非お越しください。

警察本部保安課 ☎017-723-4211



みなさんと県庁を結ぶ 県政インフォメーション

<p>テレビ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■RAB[LINK/青森県](30秒スポット) ■RAB[大好き、青森県。](第三日曜日)17:00~17:15(放送週が変更になることがあります) ■ATV[みんなの県庁!](土)16:55~17:00 ■ABA[メッセージ](土)9:30~9:35 	<p>ラジオ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■RAB[青森県広報タイム](月)~(木)7:30~7:35 ■エフエム青森[あもり・ふあん](月)~(金)16:55~17:00 ■エフエム青森[申吾のほっとチャンネル](第一日曜日)7:00~7:30 	<p>新聞</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「広報あもりけん」毎月1日・16日 ■東奥日報・デリー-東北・陸奥新報
---	--	--

■青森県広報広聴課公式Facebook (<https://www.facebook.com/AomoriPref.koho>) ■青森県庁Twitterアカウント(@AomoriPref) ■青森県広報広聴課Twitterアカウント(@aomorist)

編集発行/青森県広報広聴課 ☎017-734-9137 〒030-8570 青森市長島1-1-1/県のホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/> ※「県民だよりあもり」は点字版・録音版も発行しています。ご希望の方は広報広聴課までお知らせください。この印刷物は527,000部作成し、印刷経費は1部当たり9.2円です。

県民だよりあもりの印刷に係る電力2,964kwhは、県内の住宅用太陽光発電で発電されたグリーンな環境価値を活用し、グリーン化されています。詳しくは県HP [グリーン電力証書](#) [Q検索](#)